◎町長行政報告

○議長（土屋清武君） 日程第4、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 長嶋精一君 登壇）

○町長（長嶋精一君） おはようございます。平成31年松崎町議会第1回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。

去る1月26日、昨年12月に開通した国道136号土肥峠工区の1キロメートルに渡るバイパス区間に続き、伊豆縦貫道の一部、天城北道路が開通しました。同時に天城北道路と国道136号を直結する下船原バイパスも開通し、当町から修善寺方面へのアクセスが大きく改善され、日常生活、観光業への好影響が期待されているところでございます。

また、今年は4月に統一地方選挙が予定され、5月には元号が変わり、7月には参議院議員通常選挙が、10月には消費税の増税が予定されておりますことから、節目の年であると考えております。

次に最近の町政の動向について概要を報告いたします。

1つ目は、道の駅花の三聖苑伊豆松崎の指定管理者指定議案が二度にわたって否決され、三度目にようやく可決されました。私も議員の皆様も共通しているのは「町のために」という思いであり、一時的な意見の相違はあっても、今後も議会の皆様とは真摯に向き合っており、議論を重ね、より良い町政を目指してまいり所存でございます。

2つ目は、駿河湾フェリーについてです。議会全員協議会でもご説明したとおり、4月以降の運営を、県と駿河湾沿岸3市3町で維持管理費を負担し継続していくことになりました。今後は、維持管理費を運行収入で賄えるとされる年間利用者20万人に届くよう関係機関と連携し、支援して参りたいと考えております。

本日は、「町営観光施設の入館状況について」ほか1件についてご報告いたします。詳細は担当課長より申し上げます。以上でございます。

○企画観光課長（高橋良延君） それでは、企画観光課から1件行政報告をさせていただきます。

はじめに、町営観光施設の入館状況について資料ナンバー1によりご報告をいたします。

まず、1ページをお願いいたします。

はじめに、「伊豆まつぎき荘」でございます。右側の1月までの累計の比較でご説明をさ

せていただきます。

宿泊利用人員につきましては、1月末現在、1674人減、1万6943人となっております、入浴、休憩利用人員を加えた人数は2051人減の2万6712人となっております。

収益につきましては、前年度より827万6000円ほど減少いたしまして、2億5018万円となり、一方、公債費、減価償却費等を按分して加えた事業費用におきましては前年度より460万3000円減少いたしまして2億5318万6000円となりまして、利益につきましては、300万6000円のマイナスとなっております。これは前年度より367万3000円ほどの利益減となっている状況でございます。

続きまして、2ページをお願いいたします。伊豆の長八美術館でございます。伊豆の長八美術館は1月末現在、1153人減の1万9997人の利用でございます。収支差額におきましては、マイナスの747万5000円となりましたけれども、前年度に比べまして120万9000円の収支改善となっているところでございます。

続いて、重要文化財岩科学校でございます。こちらは、1月末現在、646人増の1万3185人の利用でございます。収支差額におきましてはマイナスの620万円でございますが、こちらも前年度に比べますと収支といたしましては43万3000円ほど若干ではございますけれども、改善となっているところでございます。

続きまして、3ページをお願いいたします。明治商家中瀬邸でございます。こちらは、1月末現在、513人減の9649人でございます。1月末収支差額におきましてはマイナス588万7000円でございます。こちらも前年度に比べまして28万6000円ほど収支としては若干ながら改善という形でございます。

続きまして、民芸館でございます。こちらは、442人減4950人でございます。1月末の収支差額におきましては、マイナスの322万2000円ということで、こちらは前年度に比べまして102万8000円ほどの収支差額のマイナスという状況でございます。

続きまして、4ページをお願いいたします。道の駅花の三聖苑でございます。こちらにつきましては、1月末現在3486人減の3万6482人の利用でございます。収支差額におきましては、マイナスの816万3000円となっております、こちらは前年度より15万2000円ほど収支のマイナスということでございます。

1月までの累計でございますが、利用人員につきましては、重要文化財岩科学校では利用人員は増加しておりますけれども、その他の施設につきましては全て利用人員は減少しているという状況でございます。

また、収支の状況につきましては、伊豆の長八美術館、重要文化財岩科学校、明治商家中瀬邸で昨年よりは改善されてはおりますけれども、全ての施設で収支差額はマイナスとなっております。厳しい状況が続いている状況でございます。

4月からは静岡DC（静岡ディスティネーションキャンペーン）というこれは日本最大の観光キャンペーンでございますが、静岡DCも始まり、伊豆半島の自治体、観光関係者一体となって伊豆地域への観光誘客を図ってまいります。

伊豆の長八美術館では、この静岡DCでJR東日本の商品企画にも取り上げられまして、更なる誘客も期待されるところでございます。

また、クラブツーリズムという業者がございますけれども、こちらは松崎町のジオクルーズという企画が採用されまして、4月から6月まででバスのツアーも定期的に組まれているところでございます。

今後も観光誘客に観光の関係団体と連携して取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして町営観光施設の入館状況についての報告とさせていただきます。

○生活環境課長（鈴木 悟君） それでは、生活環境課から行政報告の2番目、公営企業会計平成31年1月末経営状況について報告をさせていただきます。資料ナンバー2の方をお願いいたします。

はじめに水道事業会計でございます。収益からになります。本年度1月末収益につきましては、営業収益・営業外収益を合わせまして、1億766万8000円、前年対比403万9000円、3.6パーセントの減となっております。理由といたしましては、1月末現在の有収水量につきまして70万6806㎥で、一般用と営業用と官公署などの減少により収益減となりました。

また、予定収益を加えた事業収益の合計は1億1777万9000円、前年対比412万4000円、3.4パーセントの減となっております。

一方、費用の方でございます。営業費用に予定費用を加えた合計は1億936万5000円、前年対比2万7000円の増となっております。

その結果、差引純利益につきましては、841万4000円、前年対比415万1000円、33.0パーセントの減となりました。

続きまして、温泉事業会計でございます。はじめに、収益の方です。営業収益・営業外収益を合わせまして、4818万2000円、前年対比141万6000円、2.9パーセントの減となっております。昨年同期と比べますと権利放棄などにより営業用・自家用ともに1件減少し、営業収

益は133万9000円、前年対比2.7パーセントの減となりました。

予定収益を加えた事業収益の合計は5002万1000円、前年対比153万8000円、3.0パーセントの減となっております。

一方、費用の方でございます。営業費用に予定費用を加え合計は4261万1000円、前年対比62万9000円、1.5パーセントの増となっております。

その結果、差引純利益につきましては、741万円、前年対比216万7000円、22.6パーセントの減となりました。

両会計とも前年を下回っているものの利益を確保できておりますが、水道事業においては、使用水量の減少に伴う収益の減少が続いているところでございます。

また、温泉事業については、収益確保のため引き続き新規加入の促進を図っていきたいと考えております。

以上、1月末公営企業会計の状況についての報告とさせていただきます。

○議長（土屋清武君） 以上で町長の行政報告を終わります。